

目黒労協 2018秋季年末闘争ニュース

No. 19-01 2018年12月1日

発行: 目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://home.g01.itscom.net/union/>

メール union@r05.itscom.net

みんなで労働組合を頑張ろう!

目黒労協 第67回定期大会を元気に開催

11月10日、東京土建目黒会館にて、目黒労協の第67回定期大会が開催され、活動報告、向こう一年間の活動方針、そして役員体制が満場一致で承認されました。来賓として、東京地評、大田区区労協、品川労協、目黒区労連、国民救援会目黒支部、共産党目黒区議団、渋谷共同法律事務所、労働情報センター大崎事務所からご挨拶をいただきました。また、JAL争議原告団は日頃の支援御礼がなされ、パスコ労組からは『あやめちゃん募金』の御礼と、労協への再加盟報告をいただきました。代議員は19名、執行委員・大会運営委員、来賓の方全員で40名の参加でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



第 67 回大会参加の皆様、大会成功へのご協力ありがとうございました。代議員の方より、大会参加の感想をいただきましたので、ご紹介させていただきます。今後も目黒労協へのご指導とご協力を、どうぞ宜しくお願い致します。

明るく元気な目黒労協定期大会

11月10日、東京土建目黒会館にて、目黒労協第67回定期大会が催されました。今年の大会は、明るく元気な大会だったといっているでしょう。JMITU目黒地域支部の委員



長と書記長が、選挙管理委員会役員として活躍したからではありません。議長に東京土建の千葉さんが就いたからでもありません。

一つはパスコ労組が加入を決めたことです。パスコ労組は再加盟です。きっかけはパスコ労組組合員の誕生まもない娘さん、あやめちゃんでした。『あやめちゃんの心臓移植費用捻出』のカンパ運動の一翼をになったのが、目黒労協というわけです。いったんは地域共闘の輪から

離れましたが、『あやめちゃん募金』の取り組みを通じて、また一緒に活動することを決めてくれました。パスコ労組の“若い力”に、大いに期待してしまいます。

もう一つは、大東通信の長谷川委員長が目黒労協執行委員に就いてくれたことです。たしか年齢は30歳前。若手だから周囲は勝手に期待してしまいます。勝手な気持ちは自然と大きくなります?? というわけで『目黒地区労働組合協議会、がんばれ!!』

(JMITU目黒地域支部『書記局ニュース No.05』より)

本気で「仲間増やし」に取り組んでいますか

目黒労協70周年にむけて、目黒労協への労働組合の加盟を増やし、地域の労働戦線の統一をめざす、目黒労協の役割は大変大きなものになります。特に若者の『労働組合離れ』と言われていますが、目黒労協として全労働者に対して、本当に全力で働きかけをしてきたでしょうか。労働組合と労働組合員を増やすことは、労働者とその家族を守ることになるはず。このことに確信をもって、引き続き、目黒区内での活躍にご期待します。(目黒労協第67回定期大会/代議員)



* 大会発言は、『大会特集版』にてご紹介しています。

地域の仲間の大会が行われています

目黒区労連



10月20日、中目黒住区センターにて目黒区労連定期大会が開催されました。都教組から、『組合員にアンケートを取ると記述欄にびっしり記入がある』と、厳しい職場の状況の報告がありました。区職労から、『昨年の人事制度改正の影響で、平均12万3千円の賃下げになり4月に遡って一時金から引かれる』、私立公立とも、産休代替が見つからない、保育の質の維持が危ない、と発言がありました。(目黒区職労/通信員)

目黒生活と健康を守る会

11月17日、目黒生活と健康を守る会の第56回総会が、月光原住区センターで行われました。この会の目的は、『地域で人々が人間として尊ばれるように、憲法をくらしに生かす生活の向上、健康を守る運動をすすめ、一人ひとりの要求の実現を目的とします』と、規約にうたっています。ひとりの要求をみんなで支え・闘うという、労働組合の活動と相通じるものがあります。(目黒労協/事務局)



23区職員組合、賃下げ実施を見送らせる

署名や集会参加など過去最高の到達点と、組合員の団結の成果で

東京23区の区長からなる特別区長会は11月22日、23区の職員給与を据え置くことで労働組合(特区連)と妥結しました。特別区人事委員会が、月給与を平均9,671円下げるなどの勧告をしていましたが、過去最大の下げ幅となるため、組合が反対し交渉が続いていました。人事委員会勧告通りに給与改定をしないのは、異例のことだそうです。この間、23区役所に働く労働者は、特区連・東京清掃労組に結集し、署名活動や抗議集会などを取り組み、最近になり闘争の盛り上がりがありました。



11月5日・蒲田アプリコホールに1,200人

(目黒区職労/通信員)

地域での共同の取り組み

土建目黒支部の「ふれあいフェスタ」で科学実験



11月18日(日)、東京土建目黒支部の『ふれあいフェスタ 60』が、中目黒舟入場公園で行われ、労協も『科学実験コーナー』で参加しました。“手をつなごう・地域と土建組合”のスローガンで行われた、土建目黒支部の結成60周年の記念行事です。そこに目黒労協として“科学実験”で、企画参加させていただきました。労協“科学実験部”の目玉は、スモークを使った“空気砲”です。しかし会場には、子供たちだけの参加が少なく、少し手持無沙汰も。それ

でも、“煙”のリングを出したり、フィルムケースのロケット発射を試しているうち、たくさんのお子さんたちが集まる場面もありました。これからもご要望があれば、地味な“科学実験”で、どこにでも出向きますので、お声をかけてください。(目黒労協/科学実験部)

オスプレイいらない! 10・27東京大集会

10月27日、多摩川中央公園(福生市)で2千人が参加し行われた、『横田基地にオスプレイはいらない10.27東京大集会』に、目黒平和委員会の呼びかけで参加しました。参加者全員が、『日本のどこにもオスプレイいらない!!』のプラカードを掲げて意思表示。リレートークでは、高校生平和ゼミナールの高校生が登壇して訴えるなど、多彩な発言がありました。(東工大職組/通信員)



目黒労協 団結旗開き

2019年1月11日(金)

開始：午後6時30分

会場：土建目黒会館

会費：2千円